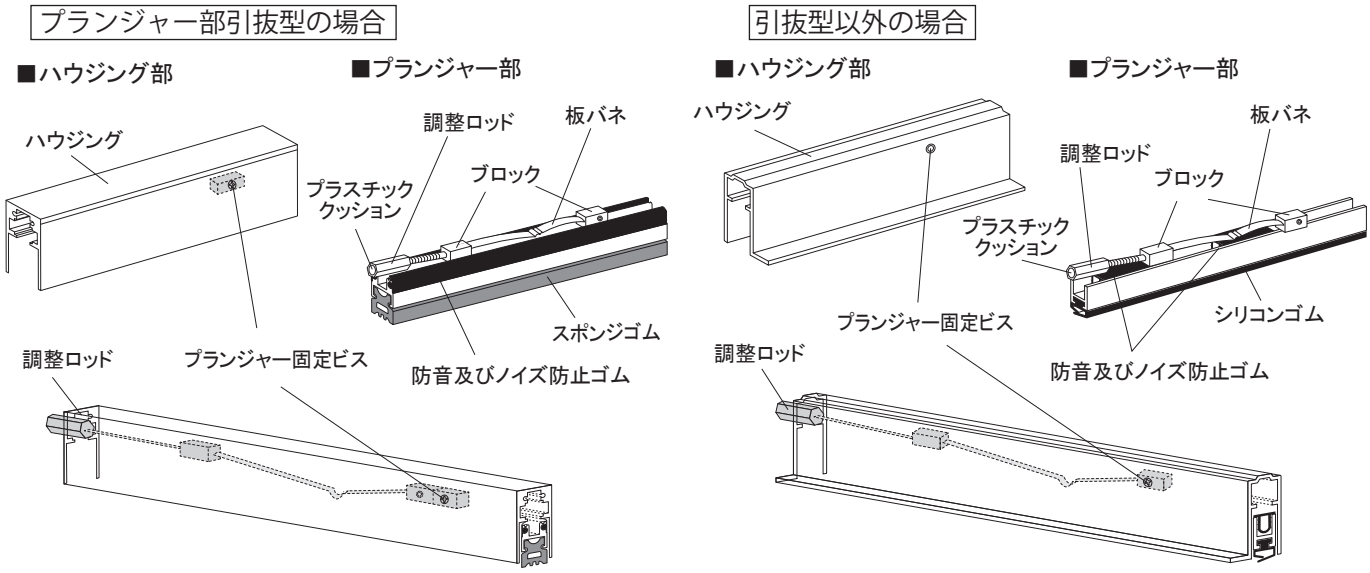
オートマチックタイト(扉下部)

特　徴

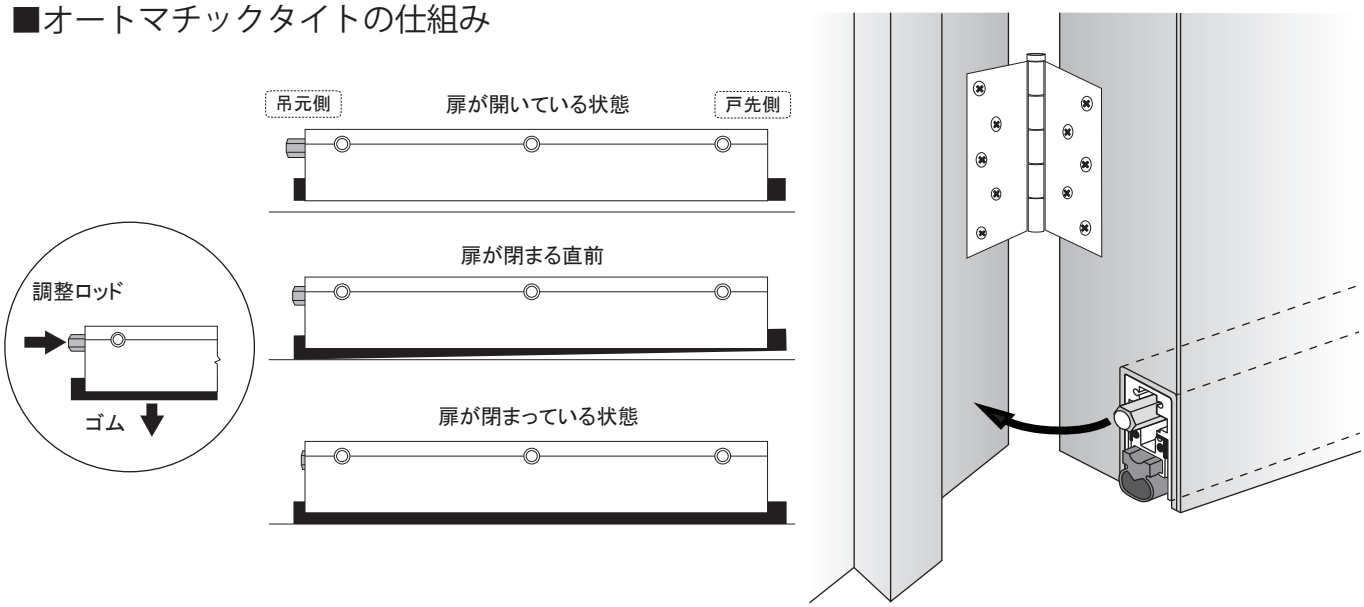
オートマチックタイトは、扉下部に収納します。
扉と下枠の隙間を塞ぎ、音・風・光・煙の影響を軽減して、気密性、防音性を高めることができます。
扉を閉めることにより自動的にゴムが降り、扉を開けるとゴムは自動的に上がり、ゴムを擦るなどの支障がなくスムーズに通行することが出来ます。
50万回開閉試験(W901xH2392 扉重量101kg　建材試験センター：第08A3863)、
10万回開閉試験(W1206xH2007 扉重量500kg　建材試験センター：第19A3251)を、クリアしています。

オートマチックタイト各部名称

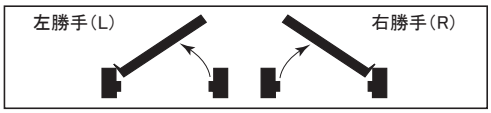


(図は＃362：引き抜き型)　　(図は＃323)

■オートマチックタイトの仕組み



扉が閉る直前に、調整ロッドが枠に当たり押され、ゴムの付いたプランジャーが丁番側から降ります。
さらに押し込まれると、プランジャー部が少し前に出ながら降り、ゴムが扉下部を塞ぎます。
ロッド棒が3～4mm押し込まれると、8～9mmの隙間をふさぐことができます。(品番と納まり位置により異なります)
扉が開くと、内蔵された板バネの回復力により、床面を擦ることなくゴムが戻ります。



注文方法

■品番／長さ／本数／左右がある商品は勝手(押し勝手)、取付ビス(スチール扉用または木扉用)をご指定ください。

■カットは商品代に含まれていますので、ご使用になる寸法でご注文ください。
カット寸法の出し方は、9-10ページをご参照ください。
ゴムは金物寸法より両端+20mmで出荷しています。
※300mm以下は、保証対象外になりますが、製作可能です。
※1524mm以上は、品番によっては対応可能ですが、受注生産となり納期がかかります。お問合せください。

■お客様でカットされる場合は、定尺寸法にて出荷いたします。
それぞれ定尺寸法より100～150mm程度(定尺寸法による)は、カットが可能です。
品番によっては基本定尺寸法以外の長さの出荷も可能ですので、およその使用寸法をお知らせください。
カット後、ゴムのボンド付けをおこないます。カット方法は、10ページをご参照ください。
※使用寸法が400mm以下の場合、#352X、#350X、#321オプションエンドカバー使用時は、ご使用寸法にて弊社にカットをご依頼ください。

単位：mm

オートマチックタイト基本定尺寸法	400	500	762	914	1066	1219	1371	1524

※500mm以下はバネの柔らかいLSタイプを使用(一部商品を除く)

■交換用のゴムのみのご注文も可能です。品番／長さ／本数をご確認ください。

注意事項

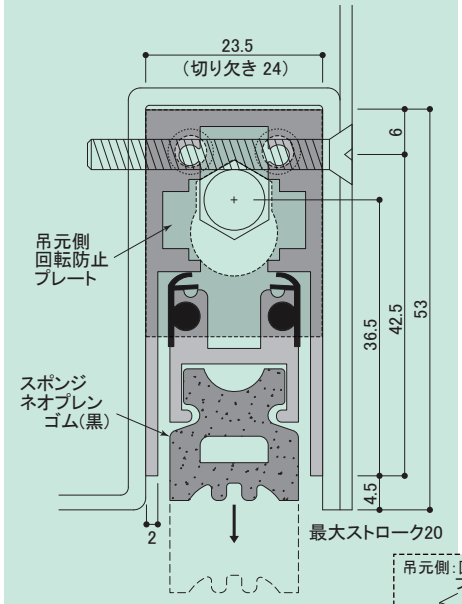
●オートマチックタイトは室内用です。
●くつづりの平坦度は特に重要な条件です。
●ゴムを下に降ろす為に、常にロッド棒を押し込む7～12kg程度の力(長さによる)が必要となる為、引き戸にはご使用いただけません。
●中心吊ヒンジ、自由開きの扉はご使用頂けません。枠のある一方開きの扉のみご使用いただけます。

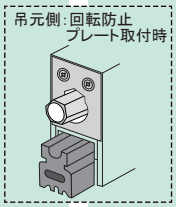
オートマチックタイト

材質：アルミニウム　仕上：A=アルミアルマイト　N=アルミ生材

●標準設計用
ホール扉／ホテル宴会場等
戸厚50mm程度～

#362A　※プランジャー部引き抜き型
※外付け可



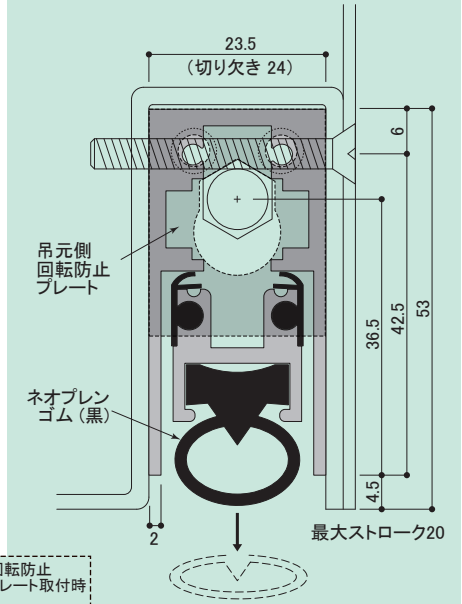


吊元側：ロッド回転防止プレート付

付属ビス	スチール扉	M4×35
	木　扉	4.1×38

●標準設計用
ホール扉／ホテル宴会場等
戸厚50mm程度～

#3666A　※プランジャー部引き抜き型
※外付け可

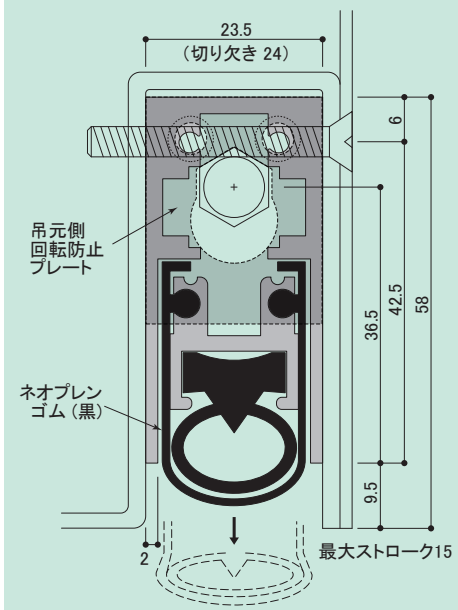


吊元側：ロッド回転防止プレート付

付属ビス	スチール扉	M4×35
	木　扉	4.1×38

●遮音扉用
ホール扉／スタジオ／PAT扉等
戸厚70mm程度～

#368A　※プランジャー部引き抜き型
※外付け可

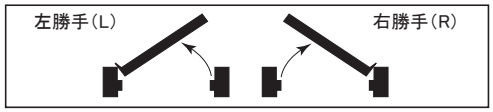


吊元側：ロッド回転防止プレート付

付属ビス	スチール扉	M4×35
	木　扉	4.1×38

※ゴム交換のプランジャー引き抜き方法は、11ページをご参照ください。

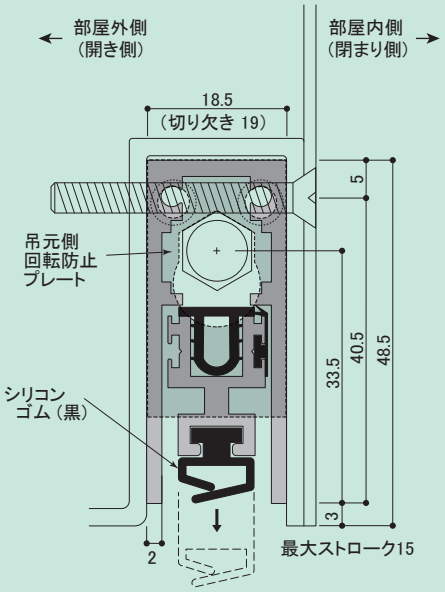
オートマチックタイト(扉下部)



●標準設計用
一般扉
戸厚45mm程度～

#352A

※プランジャー部引き抜き型
※外付け可



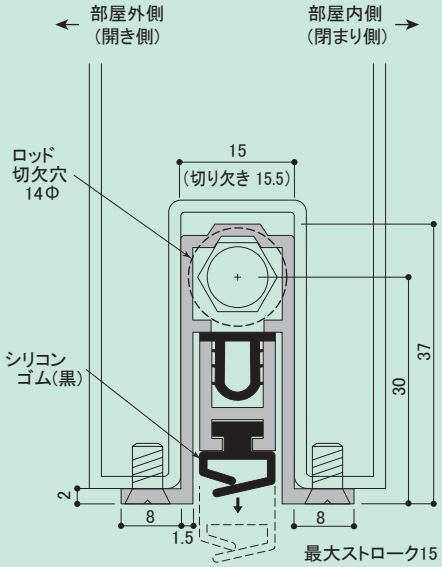
ゴム左右勝手あり

吊元側:ロッド回転防止プレート付

付属ビス	スチール扉	M4×35
	木　扉	4.1×38

●エコノミータイプ
ホテル客室／住宅等
戸厚40mm程度～

#320N

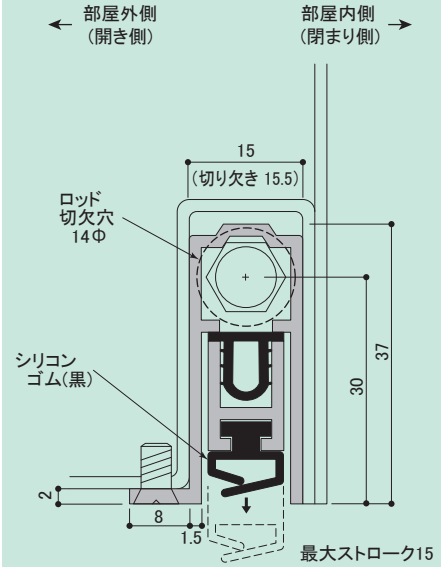


ゴム左右勝手あり

付属ビス	スチール扉	M4D6×8
	木　扉	3.1×16

●エコノミータイプ
ホテル客室／住宅等
戸厚35mm程度～

#323N

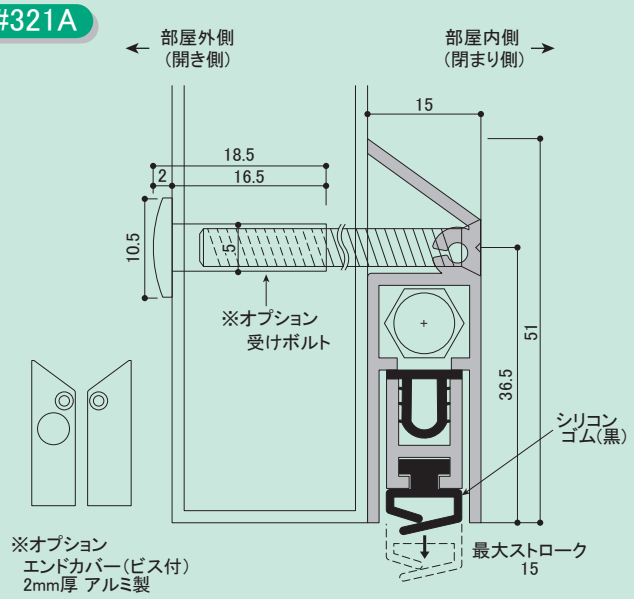


本体 および ゴム左右勝手あり

付属ビス	スチール扉	M4D6×8
	木　扉	3.1×16

●外付けタイプ
既存扉改修用

#321A

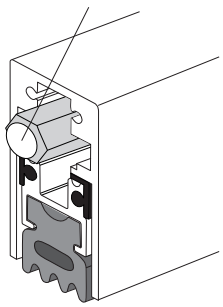


本体 及び ゴム左右勝手あり

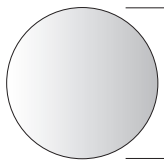
付属ビス	スチール扉	M4D6×25
	木　扉	3.1×25

※取付けはM4皿ビスまたは、受けボルト(オプション)です。
　受けボルトご使用の場合は、戸厚(DT)をお知らせください。
※カット寸法の出し方は、10ページをご参照ください。

【全商品共通】
調整ロッド先端には、
キズ防止用のプラスチック
クッションがついています。
(取らないようにしてください)



木枠で凹みが想定される場合は、
枠側に当り板を併用してください。

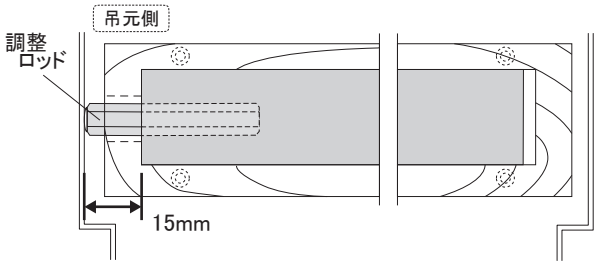


20
両面テープ付き
ステンレス製
厚み:2mm

オプション : 当り板 ZRA-1

調整ロッド:50mm(標準)

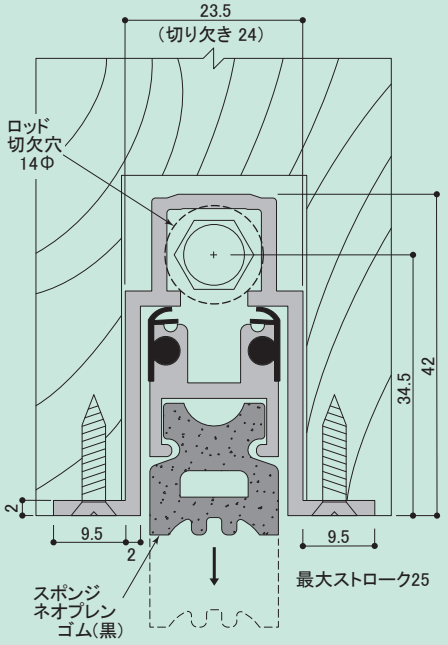
吊元側、枠端部から金物端部までが、15mm以上ある場合は、
調整ロッド棒(標準50mm)を長いものに変更する必要があります。
ご発注時にお知らせください。



材質：アルミニウム　仕上：A=アルミアルマイト　N=アルミ生材

●標準設計用
ホール扉／ホテル宴会場等
戸厚50mm程度～

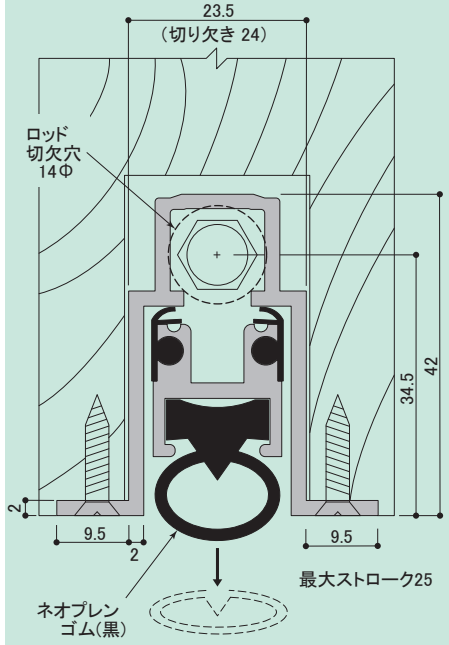
#360N



付属ビス	スチール扉	M4D6×8
	木　扉	3.1×16

●標準設計用
ホール扉／ホテル宴会場等
戸厚50mm程度～

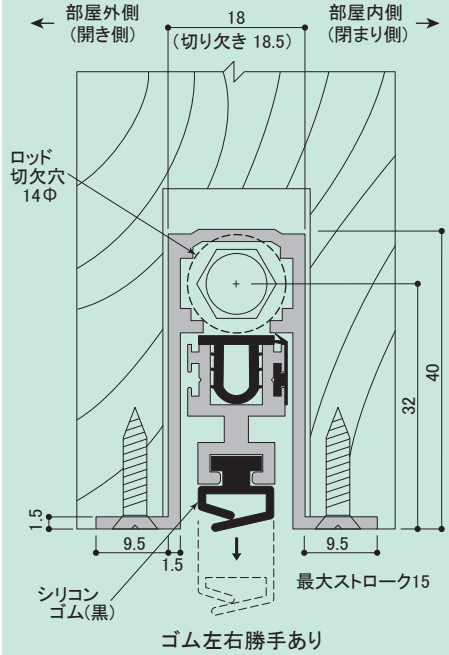
#3644N



付属ビス	スチール扉	M4D6×8
	木　扉	3.1×16

●標準設計用
一般扉
戸厚45mm程度～

#350N

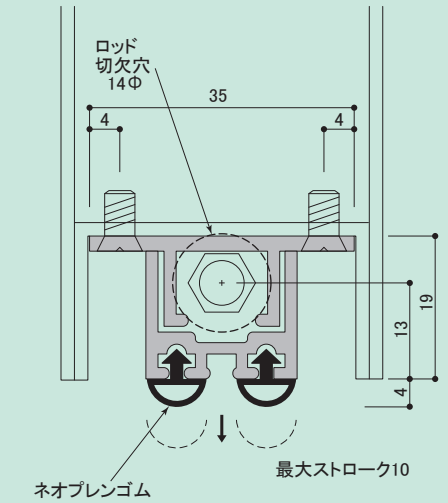


ゴム左右勝手あり

付属ビス	スチール扉	M4D6×8
	木　扉	3.1×16

●アルミ扉用タイプ

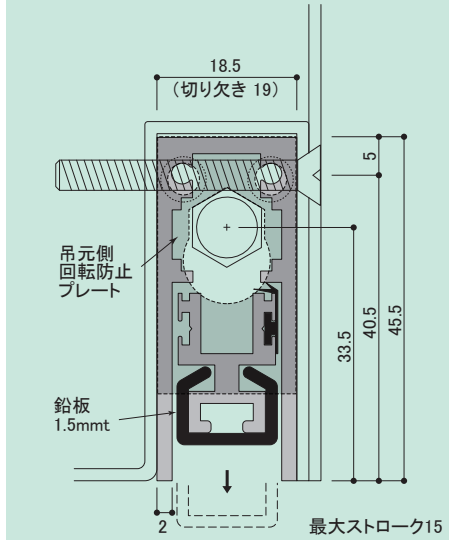
#355N



付属ビス	スチール扉	M4D6×8
	木　扉	3.1×16

●X線対応型

#352XA　※プランジャー部引き抜き型

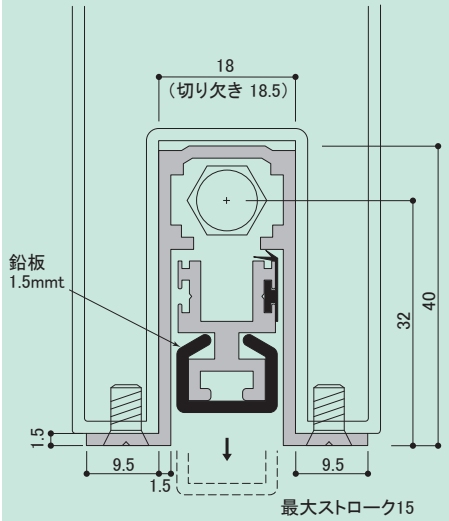


吊元側：ロッド回転防止プレート付

付属ビス	スチール扉	M4×35

●X線対応型

#350XA



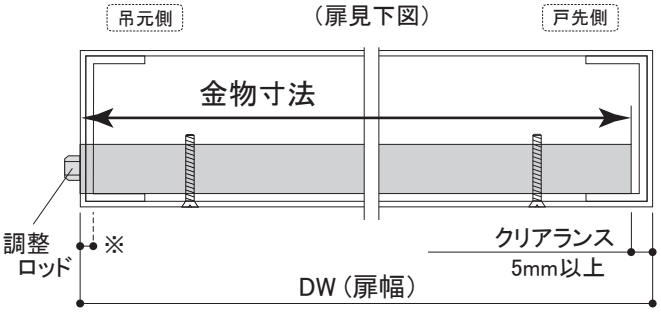
付属ビス	スチール扉	M4D6×8

オートマチックタイト(扉下部)

金物寸法と切欠き

オートマチックタイトが可動する際、プランジャー部が斜め前に降ります。その為戸先側には必ずクリアランスが必要です。
クリアランスが十分でない場合、ゴムがひっかかり降りなくなる可能性があります。

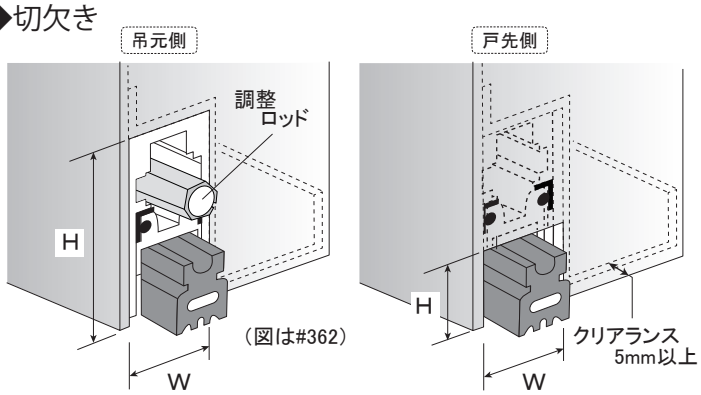
■標　準(鋼製建具／木製建具)



● **金物寸法＝DW－戸先側5mm以上**

●引抜型#362/#3666/#352/#368以外の鋼製建具で、
吊元側の小口を見せないようにする場合：
金物寸法＝DW－戸先側5mm－※吊元側4mm
吊元側切欠き：調整ロッド用14Φ穴＋(ゴムのサイズ)

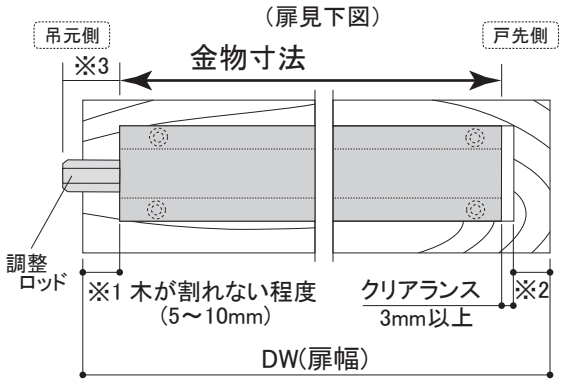
◆切欠き



吊元側：オートマチックタイト全体　　戸先側：ゴムのサイズ

品番	吊元寸法	戸先寸法
#362/#3666	W24 x H53	W20 x H20
#352	W19 x H48.5	W17 x H20
#320/#323	W15.5 x H37	W14 x H17
#368	W24 x H58	W24 x H39

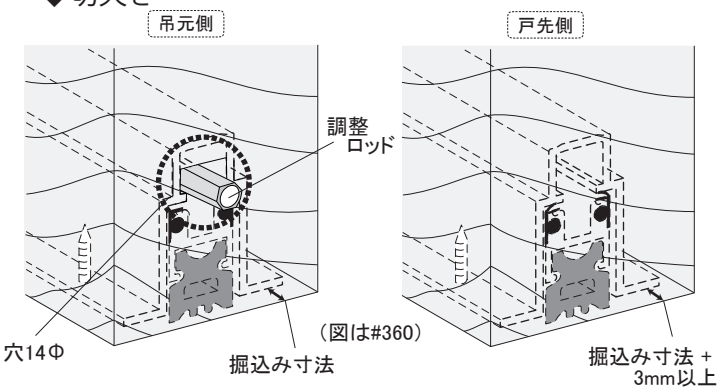
■小口をふさぐ場合(木製建具)



●**金物寸法＝ DW －※1－ ※2 －戸先3mm以上**

●※3　15mm以上の場合は、調整ロッドを長いものに変更

◆切欠き

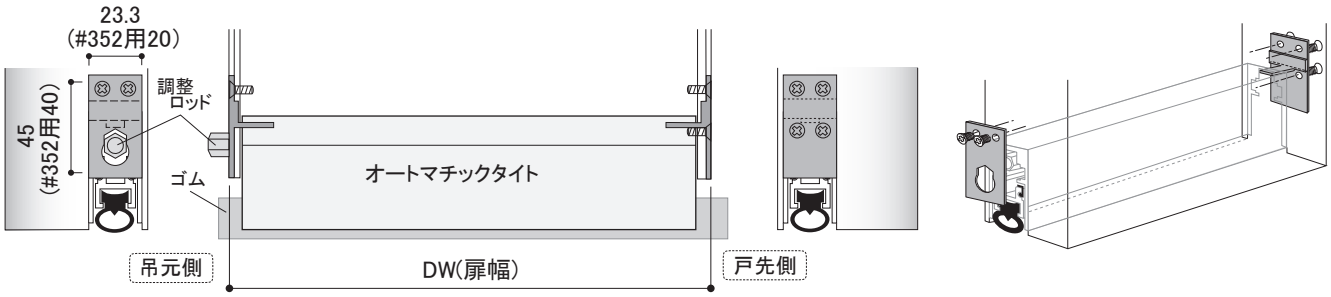


吊元側：調整ロッド用14Φ穴
＋(ゴムのサイズ)

戸先側：切欠きなし
またはゴムのサイズ

オプション吊金具(鋼製建具)　#362／#3666／#368／#352

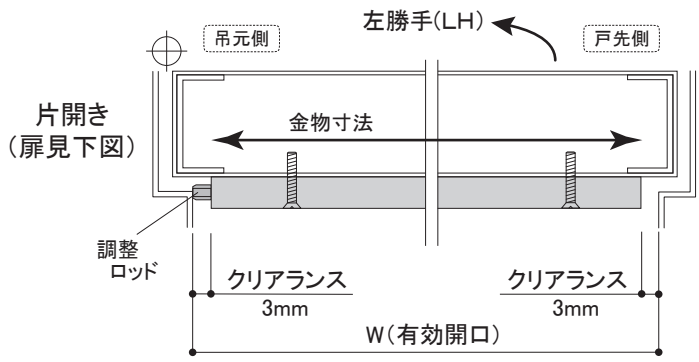
扉表面からのビス止めではなく、戸先/吊元側両端の金具で取り付けます。
交換の際は、吊金具を外すことでオートマチックタイトを全体を取り外すことができます。
扉表面に、木練り付け／ダイノックシート貼り等がある(取付ビスが取れなくなる)場合は必ず、吊金具取り付けにしてください。

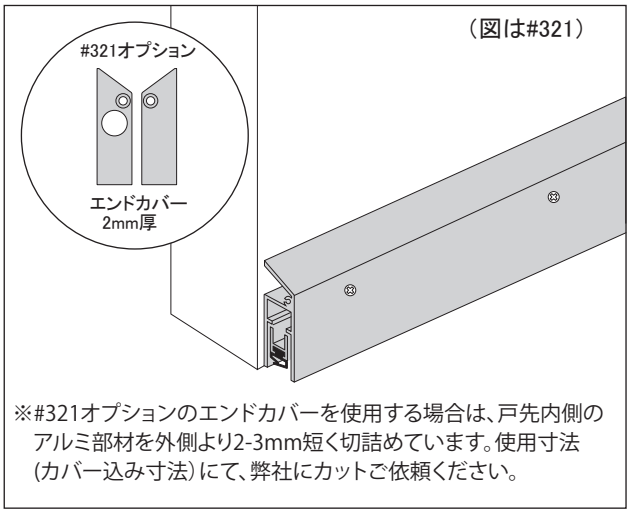


※金物寸法1100mm程度まで (1100～1200mmは戸先金具溶接)　※新規扉のみ。あらかじめ、扉製作時に加工が必要です。
※金物寸法の出し方、扉の切り欠き等、詳細図はお問合せください。

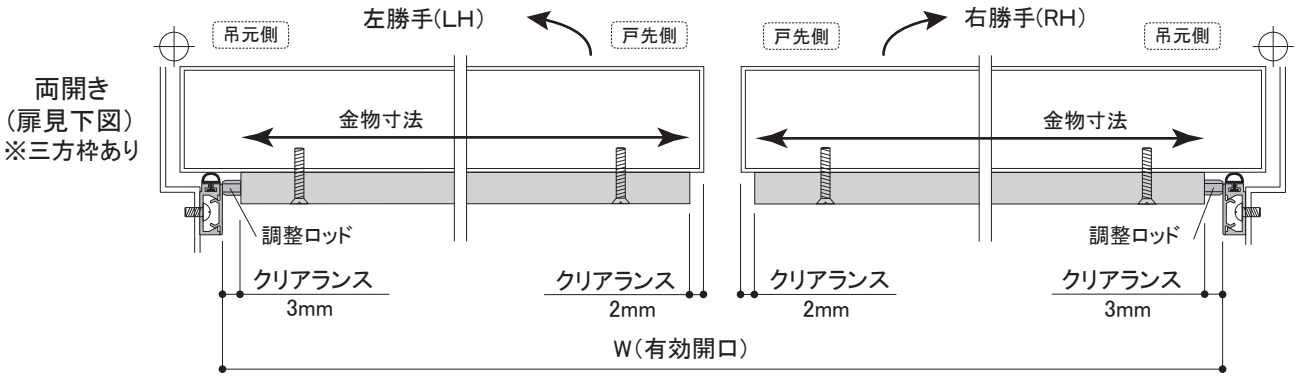
■面取付けの場合の金物寸法　#362／#3666／#368／#352／#321

扉に面付けする場合、オートマチックタイトは、内側(枠側)に取り付けます。
金物寸法は有効開口寸法(W寸法)から決めます。





※#321オプションのエンドカバーを使用する場合は、戸先内側のアルミ部材を外側より2-3mm短く切詰めています。使用寸法(カバー込み寸法)にて、弊社にカットご依頼ください。

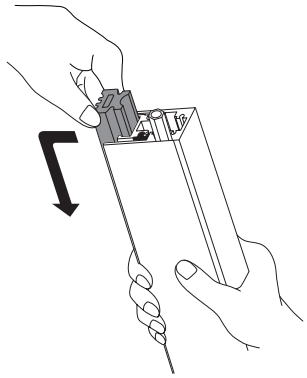


カット方法

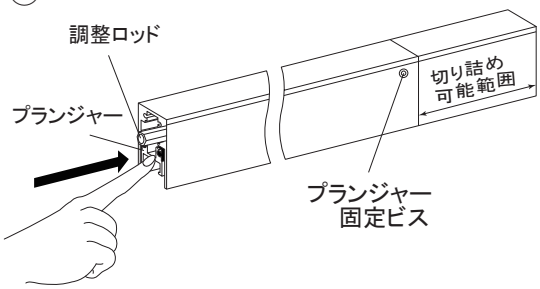
詳細寸法が不明、現場でカットしたい、などの場合は、定尺寸法で手配の上、手順にしたがって本体をカット、ゴムのボンド付けをおこなってください。(なるべく使用寸法にて、弊社にカットをご依頼ください)

注　意　●プランジャー固定ビスを切り落とすと、商品は使用できなくなります。

①片手でプランジャー部を押さえ、ゴムを外します。



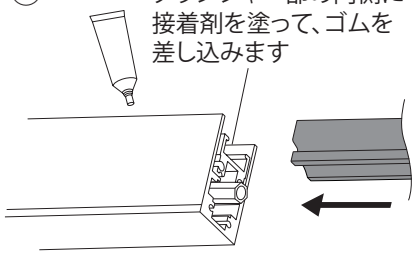
②



切り詰め可能範囲でカットしてください。
プランジャー部を押した際に、遊び(～5mm)がある場合は、調整ロッド側から奥まで押込んだ位置で切断してください。

③

プランジャー部の内側に接着剤を塗って、ゴムを差し込みます



※左右のあるゴムは取付の際、ご注意ください

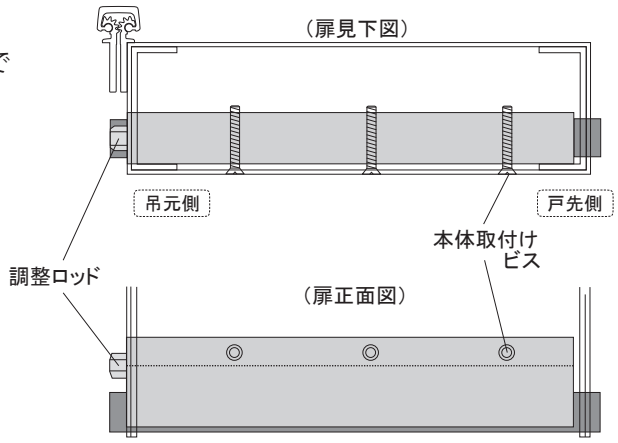
← 部屋外側（開き側）　部屋内側（閉まり側） →

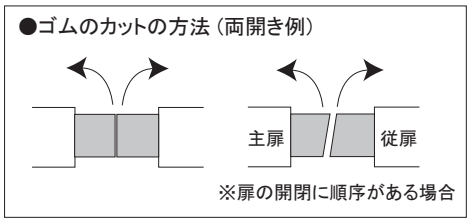
オートマチックタイト(扉下部)

取付け・調整方法

■取り付け

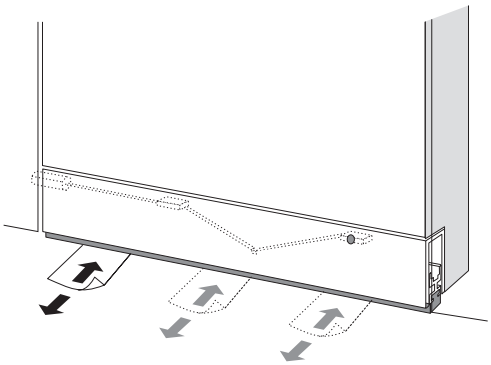
調整ロッドが吊元側になるように、下または、扉内側表面から付属ビスで取付けてください。
オプションの吊金具を使用する場合は、吊金具の付属ビスで取付けてください(10ページ参照)
戸先と吊元のすきまが埋まるように、ゴムをカットします。
両開き召合せ部は、両側のゴムが当たるようにすると遮音効果が高まります。





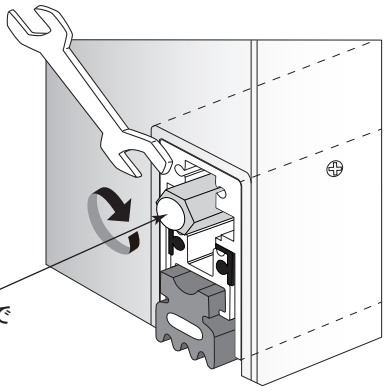
■調整方法

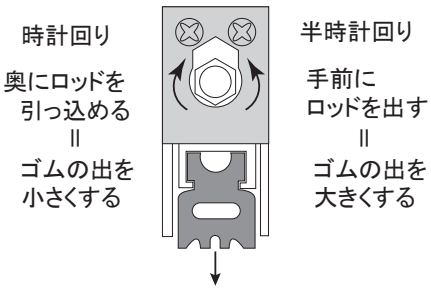
①調整ロッドを回し、扉面より調整ロッドが3~4mm出た状態にして、扉を閉めてください。
②扉下部の隙間に名刺の厚さ位の紙を差込み、引いた時に均一の抵抗があるか確認します。
ゴムは吊元から先に降り始め、戸先が後になります。
「戸先ゴムが、扉が閉まりきる10mm位の位置で降りる」が目安です。
③ゴムの出が不足または出すぎている場合は調整してください。



注意

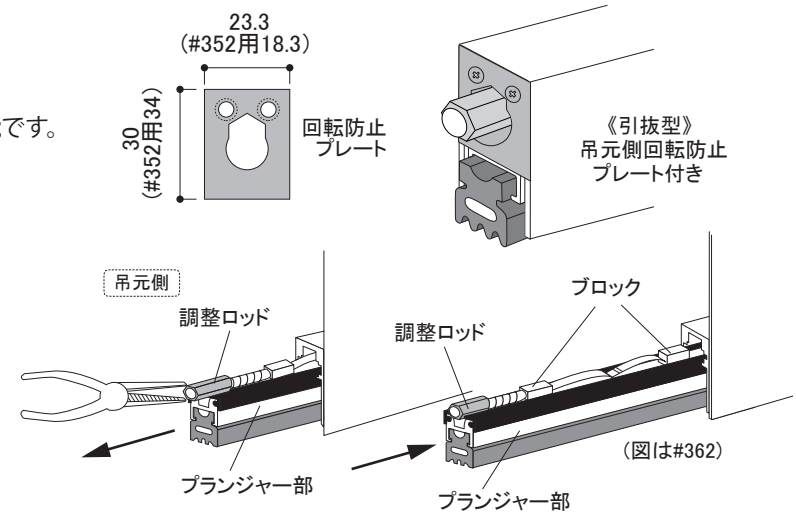
●調整ロッド棒を出しすぎると、バネに負荷がかかり、破損したり、ゴムが取れる不具合がおこります。
●調整は、現場にて必ずおこなってください。





プランジャー部引き抜き型

#362／#3666／#368／#352

引き抜き型は、金物を外さずにゴムの交換が可能です。

●着脱方法
吊元側回転防止プレートのビスを外します。
扉を90度以上開き、調整ロッドを、ペンチなどで挟んでプランジャー部を手前に引き出します。
ゴムを交換後、戻す際は、本体上部の隙間にブロックから徐々に差込み、回転防止プレートを再度取り付けます。